

長閑な日だ。遠山の山腰の一刷毛の霞。路傍の若々しい草、ア、春だ、春に限る。

變てこなスケッチを二枚作つて歸つた。電燈が嘲ける様にピカ
ーリピカーリ。(四十二年作)

有益有趣味の寄書にして次號に廻せしもの多し諒焉

紹介

◎白樺 第一卷第一號 新に生れたる文藝美術雜誌にして、華
胃の貴公子達多く筆を執れり。本號にはクリンゲル、ベツクリ
ン、シュツツクの繪畫寫眞版、並にファイテュスのカット六種を
挿み、獨逸繪畫に於ける Neubeckstein と題する K K 氏の文章
をのせたり。體裁の上品なるは最も喜ぶべし(毎月一回一都十
八錢、麴町區麴町二丁目洛陽堂發行)

◎東京寫眞研究會第一回展覽會畫集第四輯 印畫十三點、うち
人物六枚風景七枚にして、精巧なる印刷に成れり。技術上に於
ける寫眞の進歩も、大なるものならんが、材料の取扱方に於て、
特に非常の進歩を見る。此畫集の如き、當事者以外、一般好事
家にも坐右の珍たらん(四六倍版六十錢、日本橋區本町二丁目
小西本店發行)

◎山岳 五週年紀念號 菊判三百五十頁、三色版コロタイ。寫
眞版等の山岳圖數十枚を挿入し、記事は、日本アルプスの巻と
して、中央及南アルプスに關する、十餘名家の登嶽紀行、並び

に山岳に關する有益の記事を以て全誌を充たせり(正價壹圓横
濱本町四丁目高野鷹藏方日本山岳會發行)

◎中央公論 春期附録號 小説には、花袋、葉舟、小劍、白鳥、
脚本には、鷗外の『生田川』あり。本文、東西兩大學總長は面白
く、久米氏の歴史と科學は再讀すべし(四拾錢、本郷四片町反
省社)

◎無名通信 秘密號 社會各方面にわたりて其内幕を公にす、
中には公然の秘密も少なからざれど、四六二倍二百頁、初めよ
り終り迄讀了せしむるは、編輯者の技倆凡ならざるが故ならん
(四拾錢京橋區元數寄屋町無名通信社)

◎早稲田文學 四月の巻 秋聲、星湖、未明、不規夫、秋江の
小説。雨雀、正雄、蕭々の脚本あり。高村氏の Exotisch の畫
家 Paul Gauguin 見るべし(四拾錢神田表神保町東京堂)

◎文藝俱樂部滑稽描 春の目永の讀物として極めて面白し(二
十五錢日本橋本町博文館)

日本水彩畫會新會友

京都市寺町五條北入	北村定次郎
岡山縣和氣郡英保村吉永中	花岡祐太郎
福岡縣浮羽郡椿子村中河原	上木戸壽藏
長野縣福島町川崎本雄方	遷村喬會
長野縣長野男子師範學校	中村常雄
東京四谷坂町一一九、五姓田方	森野三折
福島縣二本松町字若宮一ノ二九	菅野三郎